

「日本×アート」をテーマに  
メルボルン街歩き

## アートの 時間ですよ!



たかぎまさひこ プロフィール  
メルボルンを拠点にアート・マネジ  
メントを手がける、マユミ・イン  
ターナショナル社のオペレーショ  
ン・マネジャー。1995年より美術系  
出版社営業・編集、画廊などとして  
芸術分野で活動している。

## 「国際墨画会・メルボルン教室」の巻

文：たかぎまさひこ

今回取り上げるのは、鎌滝琴蘭（かまたき  
きんらん）さんの水墨画教室。国際墨画会のメ  
ルボルン教室である。教室を始めてまだ日は浅  
いが、生徒の数は徐々に増えつつあるという。  
文字性を備える書とは違い、水墨画は万国共通  
で理解し得る絵の世界。筆使いなどのテクニッ  
クをその場で習得でき、初回から作品として形  
に残せる利点もある。そのため書以上に浸透し  
やすいジャンルなのだ。

2000年に日本の水墨画家・香取琴水（かとり  
きんすい）が設立した国際墨画会は、国外での  
発表を頻繁に行い、海外支局も精力的に増やし  
ている。特にオーストラリアはブリスベンにも  
教室を持ち、香取会長自身が頻繁に来豪して直  
接指導を行うなど力を入れている。

同会は、数年前にメルボルンのロイヤル・エ  
キシビジョン・センターを貸し切って単独展覧  
会を開催したのを皮切りに、ヨーロッパ各国  
でも日本大使館の依頼で展覧会を開催してい  
る。来年は毎年恒例の東京  
に加え、水墨画の原点とも  
言われる中国でも展覧会を  
開く。

日本国内に留まらず国際  
的な視野を持って活動する  
同会のスタンスは、海外に  
住んでいる私たちにとっ  
ても心強く感じられる。鎌  
滝さんの教室に通う生徒た  
ちは、日本人だけでなく、  
オーストラリア人も多い。  
趣味の習いごとという人も  
いれば、講師、またその上

の師範を目指して学ぶ人もいる。

同会の画風は、濃淡による繊細な日本の風合  
いと、中国の古典的な技術が融合したもの。近  
年は、固定概念に縛られない若手の作家の表現

力にも注目が集まり、水墨画  
の新しい時代が切り開かれつ  
つある。鎌滝さんもまた次世  
代の担い手として、作品制作  
はもちろん、若手育成のため  
意欲的に活動していくことだ  
ろう。オーストラリアから多  
くの新進水墨画作家が羽ばた  
いていくことを期待したい。



メルボルンで水墨画教室を開いている鎌滝琴蘭さん

■鎌滝琴蘭・水墨画教室  
日程：毎月第4土曜日  
Tel: 0438-426-587  
Web: bokuga.org  
Email: eekbb@hotmail.com